

令和7年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 191
事務事業名称		市立病院医療情報システム更新事業								
担当部署(R8年度機構)		部：	市立病院事務局	課：	医事課	区分	行政運営事業			
基本項目	総合計画	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち				細区分	行政運営区分		
		施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち				性質	健康・医療		
	市長公約との関係性		所信表明 (R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	事業期間		事業開始： 2023(R5)年度 ～ 事業終了予定： 2026(R8)年度							
	根拠法令等		枚方市病院事業の設置等に関する条例							
	関係附属機関等		該当なし							
	関係補助金等		該当なし 補助金性質： —							
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		平時より、保守等の業務や、継続的に使用できる様更新作業も行い、安定した医療情報システムの運用が行える状態。							
	対象者(受益者)		市立ひらかた病院で診療等を必要とする患者/市立ひらかた病院で行う診療等において医療情報システムを使用する者							
	現状・課題		電子カルテシステムは、本院の治療の根幹を支える物であり、継続的に安定して動作する必要がある/パソコンやプリンター・サーバーは使用年数により劣化し、安定した動作を担保出来ない							
	事業の概要		現在使用している医療情報システムの安定した運用のため、保守および更新の管理を行う。また、適正な診療を行うためのシステムを導入し、地域の中核病院として診療体制を確保する。							
	年間の主な事務		・調達仕様の確定 ・契約事務 ・システム開発 ・データ移行 ・研修							

2. 事務事業への投入コスト(インプット)									
人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績			
	正職員		2.50人	2.75人	—	—			
	再任用		0.00人	0.00人	—	—			
	任期付職員		0.00人	0.00人	—	—			
	会計年度任用職員		0.00人	0.00人	—	—			
	特別職非常勤		0.00人	0.00人	—	—			
	附属機関委員		0.00人	0.00人	—	—			
決算額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)	
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	19,220	22,575	—	—		
			会計年度任用職員	0	0	—	—		
			特別職非常勤	0	0	—	—		
			附属機関委員	0	0	—	—		
		人件費計		19,220	22,575	—	—		
		物件費計		74,835	221,727	—	—	245,125	90.5%
	歳出計		94,055	244,302	—	—			
	歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	(留意事項) ※正職員・再任用・任期付 の人件費は、人員配置を もとに平均人件費を乗算 しています。 ※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。	
		府支出金	0	0	—	—	0		
		受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0		
		市債	0	148,228	—	—	148,228		
		その他	0	0	—	—	0		
		歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	148,228	—	—		148,228
	一般財源(物件費充当分のみ)		74,835	73,499	—	—	96,897		

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 電子カルテ等更新プロジェクトチーム会議の開催回数	回	2 回	6 回	— 回	— 回
② 電子カルテ等更新にかかるワーキンググループの開催回数	回	29 回	96 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)							直接アウトカム(結果による変化・便益)										
ロジックモデル	アウトプット①	説明	—					アウトカム①	指標	説明	—						
		指標	—							指標	—						
		目標	R6	R7	R8	R9	単位			目標	R6	R7	R8	R9	単位		
		実績					—			実績					—		
		算出方法	—							算出方法	—						

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	令和8年度の電子カルテ及び各部門システムの更新に向け基本方針ならびに基本計画を策定し、院内横断的に計画を推進するためのプロジェクトチームを立ち上げた。各部門や診療科とのワーキンググループを設け、具体的な要件を整理に着手した。
R7年度	令和7年6月に電子カルテベンダに対してRFPを実施、それを反映した仕様で9月に発注、11月に契約締結した。一般競争入札で業者を決定したことから、低廉な調達を実現できた。電子カルテ等更新プロジェクトチームを中心に導入作業を進め、円滑な更新ができるよう取り組んだ。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	11/30に予定している新システムへの更新に向けて遅滞なく作業を進めるとともに、新システム稼働後に安定して病 院の運営ができるよう取り組む。	R8年度 方向性	現状維持
----------	---	-------------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 192
事務事業名称		市立病院診療関係調整事務								
担当部署(R8年度機構)		部：	市立病院事務局	課：	医事課	区分	行政運営事業			
基本項目	総合計画	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち				細区分	行政運営区分		
		施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち				性質	健康・医療		
	市長公約との関係性		所信表明 (R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	事業期間		事業開始： 不明 ～ 事業終了予定： 未定(継続実施含む)							
	根拠法令等		枚方市病院事業の設置等に関する条例							
	関係附属機関等		該当なし							
	関係補助金等		該当なし 補助金性質： —							
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		地域の中核となる公立病院として、患者に対して医療体制を確保し質の高い医療をサービスを提供できている状態。							
	対象者(受益者)		市立ひらかた病院で治療が必要とされる患者							
	現状・課題		医療サービス従事者の知識やスキルにバラつきがあれば、質の高い医療が恒常的・継続的に受けられなくなる。							
	事業の概要		①診療および健診提供体制の確保のため必要な連絡調整 ②患者等の受付・登録、診療費の計算・請求、病名登録、各種診断書・証明書の受け渡しなど ③カルテ管理等の医師事務補助作業 ④診療報酬の請求業務 ⑤医療情報システムの運用・管理 ⑥医事業務委託の履行確認等							
	年間の主な事務		・医師等との連絡調整(随時) ・委託業者との会議(1回/月) ・診療報酬情報の送信(1回/月) ・医療情報システム運用に関する会議(6回/年)							

2. 事務事業への投入コスト(インプット)									
人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績			
	正職員		3.00人	3.25人	—	—			
	再任用		0.00人	0.00人	—	—			
	任期付職員		0.00人	0.00人	—	—			
	会計年度任用職員		23.41人	24.09人	—	—			
	特別職非常勤		0.00人	0.00人	—	—			
	附属機関委員		0.00人	0.00人	—	—			
決算額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)	
	歳出	内 正職員、再任用、任期付職員	23,064	26,679	—	—	—		
		内 会計年度任用職員	78,423	116,101	—	—	—		
		内 特別職非常勤	0	0	—	—	—		
		内 附属機関委員	0	0	—	—	—		
		人件費計	101,487	142,780	—	—	—		
		物件費計	327,360	328,416	—	—	328,416	100.0%	
	歳出計		428,847	471,196	—	—	—		
	歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0		
		府支出金	0	0	—	—	0		
		受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0		
		市債	0	0	—	—	0		
		その他	0	0	—	—	0		
		歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	—	—	0		
	一般財源(物件費充当分のみ)		327,360	328,416	—	—	328,416		



3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 医師事務作業補助者の配置人数(外来配置の最大人数)	人	22 人	22 人	— 人	— 人

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)							直接アウトカム(結果による変化・便益)										
ロジックモデル	アウトプット①	説明	—					アウトカム①	指標	説明	—						
		指標	—							指標	—						
			R6	R7	R8	R9	単位				R6	R7	R8	R9	単位		
		目標					—			目標					—		
		実績					—			実績					—		
		算出方法	—							算出方法	—						

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	医師事務作業補助者の安定した雇用維持と医師への適正配置に努めた。また、令和6年度診療報酬改定を踏まえ、マイナンバー保険証を導入する環境を整備した。
R7年度	診療報酬の適正な請求をするとともに、令和8年度診療報酬改定を見据えた対応を取っていく。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	施設基準の届出や加算・指導料の算定率向上のため、最大限の加算・管理料を算定できるよう努めるとともに、職員全体のレベルアップに取り組む。	R8年度方向性	現状維持
----------	---	---------	------

参考	方向性の経過	R6年度方向性 (R5実績測定)	R7年度方向性 (R6実績測定)	R8年度方向性 (R7実績測定)	R9年度方向性 (R8実績測定)	R10年度方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 896
事務事業名称		市立病院医事課運営事務								
担当部署(R8年度機構)		部：	市立病院事務局	課：	医事課	区分	行政運営事業			
基本項目	総合計画	基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分		
		施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営		
	市長公約との関係性		所信表明 (R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	事業期間		事業開始： 不明 ～ 事業終了予定： 未定(継続実施含む)							
	根拠法令等		決裁							
	関係附属機関等		該当なし							
	関係補助金等		該当なし 補助金性質： —							
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		市立ひらかた病院事務分掌規程に基づく所管事務をすべての職員が適正かつ効率的に執行するための専門的知識を習得できている状態。							
	対象者(受益者)		医事課職員							
	現状・課題		医事課所管の運営事務を効果的・効率的に執行する必要がある。							
	事業の概要		課の運営業務							
	年間の主な事務		照会・回答業務や、予算業務など							

2. 事務事業への投入コスト(インプット)					
人員体制	(人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	2.50人	2.00人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.45人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

(千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)	
決算額	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	19,220	16,418	—	—		
		会計年度任用職員	0	1,085	—	—			
		特別職非常勤	0	0	—	—			
		附属機関委員	0	0	—	—			
		人件費計	19,220	17,503	—	—			
	物件費計	0	0	—	—	0	0.0%		
	歳出計		19,220	17,503	—	—			
	歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	(留意事項) ※正職員・再任用・任期付 の人件費は、人員配置を もとに平均人件費を乗算 しています。 ※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。	
府支出金		0	0	—	—	0			
受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0			
市債		0	0	—	—	0			
その他		0	0	—	—	0			
歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	0	—	—	0			
一般財源(物件費充当分のみ)		0	0	—	—	0			

3. 具体的な活動(アクティビティ)					
年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① ー					

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)							直接アウトカム(結果による変化・便益)								
ロジックモデル	アウトプット①	説明	—				アウトカム①	指標	説明	—					
		指標	—						指標	—					
		目標	R6	R7	R8	R9			目標	R6	R7	R8	R9		
		実績							実績						
		算出方法	—						算出方法	—					
		単位	—						単位	—					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	医事課運営事務を効果的かつ効率的に執行した。
R7年度	医事課運営事務を効果的かつ効率的に執行した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	医事課運営事務を効果的かつ効率的に執り行っていく。	R8年度方向性	現状維持
----------	---------------------------	---------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	現状維持	—	—